

## 応援奨学生に関するアンケート結果（平成30年度）

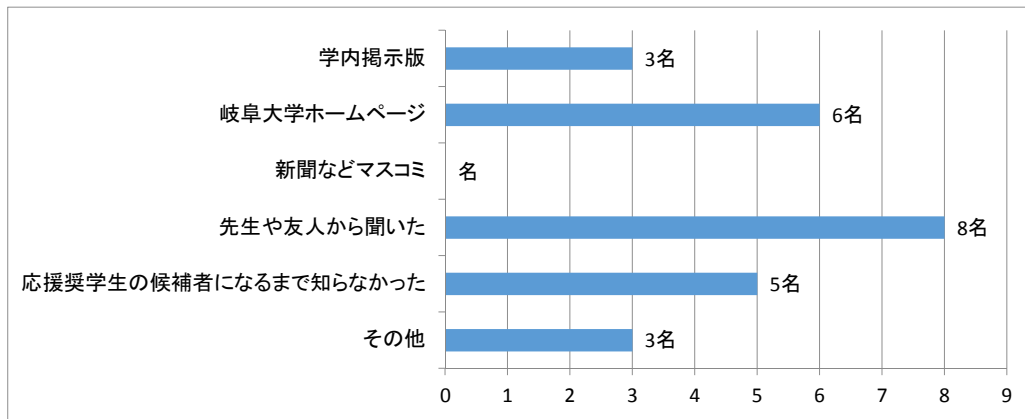
「応援奨学生」制度は、平成22年度から学生支援事業として、人物及び学業成績において優れ、他の学生の模範となるような学生に奨学金を支給することで、学業を応援し、優れた人材を育成することを目的に開始されました。

今回は平成30年度に応援奨学生として奨学金を受給された24名の方を対象に、今後の参考とするために実施したアンケート結果です。

回答者数24名

### 1 「岐阜大学基金」の広報についてお伺いします。

「岐阜大学基金」についてはどのような形でお知りになりましたか？

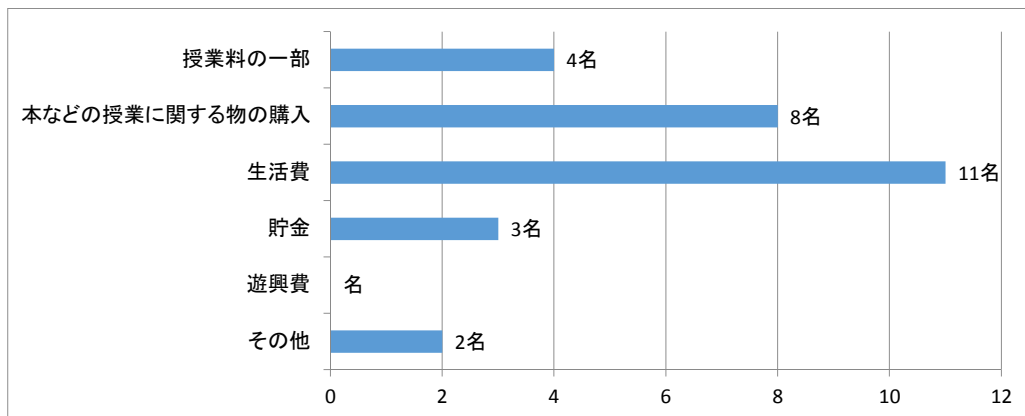


こういった告知形式を取れば、学生への認知を広めることができると思われますか？

- 入学時のガイダンスで説明する。
- メールで告知する。
- AIMSで告知を行う。
- 学部の掲示板上にポスターにして掲示する。
- 前期・後期のガイダンスで告知する。

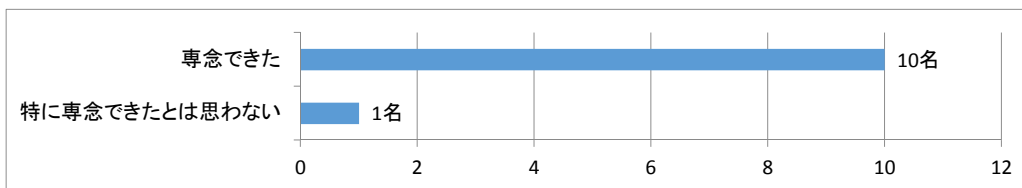
### 2 奨学金の使途や学業への影響についてお伺いします。

#### (1) 主な使途について



- その他 留学費用。英語学習教材購入費。

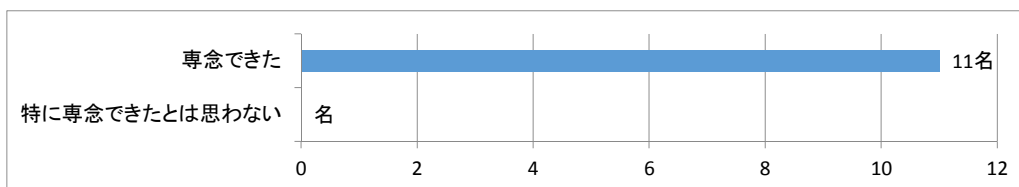
(2) 授業料や授業に関する物の購入に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- 卒業研究に関する図書や物品を買うことができ、研究への意欲が高まるとともに集中して取り組むことができた。
- 資格試験や本（参考書、専門書）、文具の購入に充てることができ、学業に専念できた。
- 専門書、解析ソフトを購入し、研究をより進めることができた。
- 専門書を購入し、より研究に関する知識をつけることができた。
- これまで購入できなかった専門書を購入し、授業への理解を深めることができた。卒業研究の際、遠方への移動費に使用し、より充実した研究をすることができた。

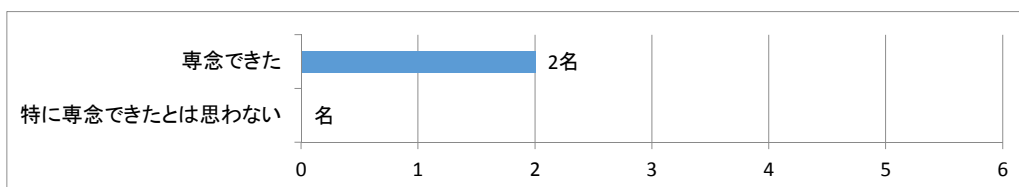
(3) 生活費に使用することで、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

- アルバイトに割いていた時間を勉強、研究の時間に充てることができた。生活費に対する精神的な不安が軽くなり、より勉強、研究に集中することができた。
- アルバイト量を減らして、勉学に充てる時間が増えた。親からの生活費の仕送りを減らすことができ、気分も楽になって勉学に集中できた。
- アルバイトを減らして研究に充てる時間が増えた。

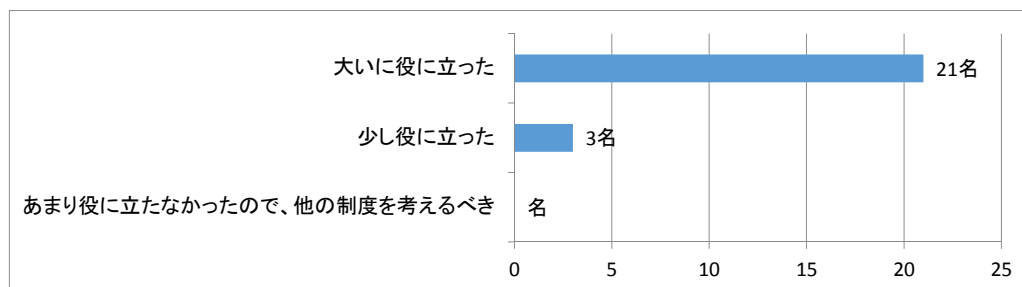
(4) 学業以外の用途に使用されましたが、給付前よりも学業に専念することができましたか？



専念できた理由

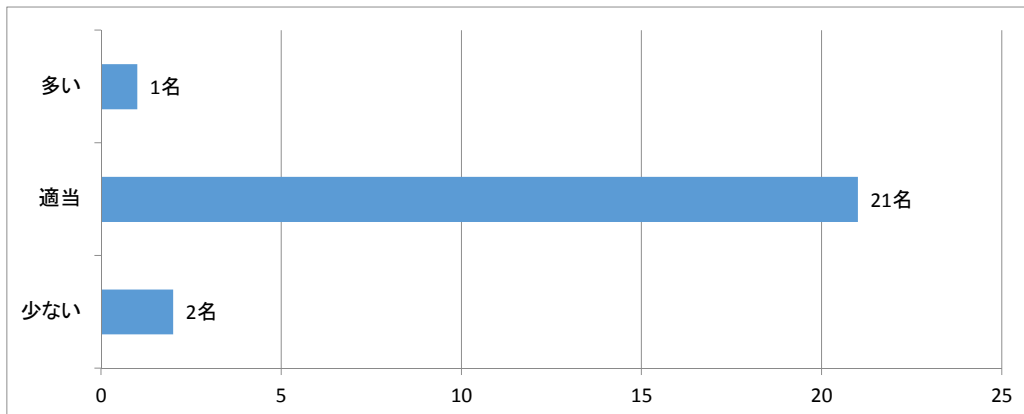
- 大学院の進学を希望してしたため、入学金やその他の進学に必要な費用の為に貯金した。奨学金によりアルバイトを減らすことができ、研究に専念することができた。
- 大学院進学を考えており、生活費のために貯金した。

3 奨学金の給付は、大学生活を有意義に過ごすために役立ったと思いますか？



4 奨学金の給付額についてお伺いします。

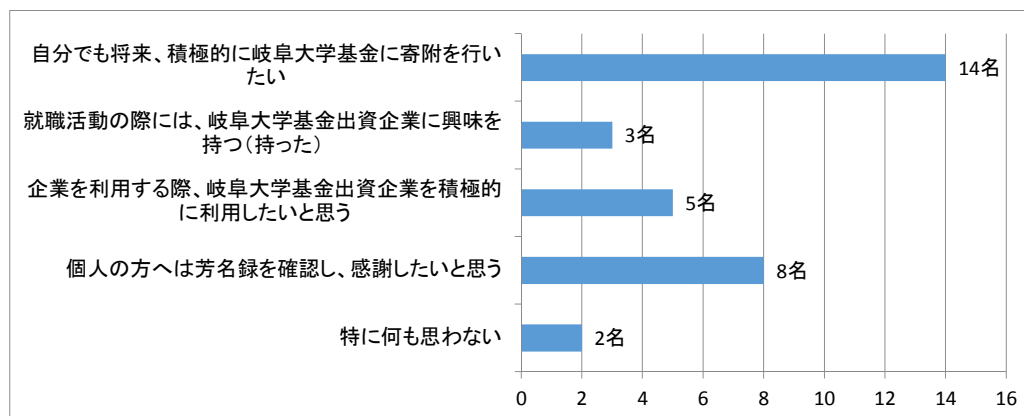
学部学生	月額 30,000円
大学院研究科修士課程（博士前期課程、教職大学院）	月額 30,000円
大学院研究科博士課程（博士後期課程）	月額 50,000円



少ないと回答した内訳（具体的な金額）

5万円/月	1名	学部学生
9万円/月	1名	大学院研究科博士課程（博士後期課程）

5 「岐阜大学基金」は多くの団体、個人、本学の卒業生や教職員からの寄附金で成り立っています。このことについてどう思われますか？（複数回答可）



## 6 応援奨学生の給付を受けたことについての感想をお聞かせください。(自由記述)

・応援奨学生のおかげで1年間学業に専念することができましたし、モチベーションも上がりました。感謝しています。ありがとうございました。

・このような給付を受けることができ、とても助かりました。大学での学びや専門の研究に集中し、さらに興味を広げることができたと思います。心から感謝しております。

・応援奨学生に選出していただいたときは、まずそのような制度があったのか、と驚いたので、もっと周知していけると良いと思いました。奨学金を支給していただいたことで、勉強だけでなく部活にも充分に参加でき、より豊かな大学生活を送ることができました。本当にありがとうございました。

・私は、一人暮らしをしていますが、生活費等を賄うためにはアルバイトをしなければ厳しい状況でした。しかし、研究に専念をしたく岐阜大学に編入をしてきたので、自分の気持ちとして、学業を第一に考えたいと思っていました。応援奨学金を給付して頂けたことで、日々の生活にゆとりを持つことができ、研究に専念することが出来ました。また、今年は応援奨学生に選んでいただいたことで、留学にチャレンジすることも決まりました。今後も岐阜大学の学生として、誇りをもって今後の研究や活動を行っていきたいと思います。本当にありがとうございました。

・まず初めに、応援奨学金の制度は、企業、教授、一般の方々からの寄付金で成り立っているということで、寄付して下さいました方々に感謝したいです。親は快く留学に行くことを許してくれましたが、金銭的に負担をかけてしまっているので、自分の努力で少しでも親に返すことが出来てよかったです。

・私はこの奨学金のおかげで大学院進学のための入学金やその他進学に必要な費用を貯金することができ、安心して大学院進学を決意することができました。また、アルバイトを減らすことができ、研究に専念することができました。大学院進学後も、ご支援くださった方々への感謝を忘れず、研究に励みたいと思います。ありがとうございました。

・今回、応援奨学生の給付を受けれたことにより、この一年間の大学生活をとて充実させることができました。本当に感謝しています。ありがとうございました。

・最終学年において、あまりアルバイトを行う時間がない中で、このような奨学金の援助はとても助かりました。未だに学生間での周知が少ないように思えることから、今後この応援奨学金の給付を受けたことを自身からも発信していけたらと考えています。1年間ありがとうございました。

・応援奨学金のおかげで、とても生活が楽になったのですが、何より精神的に生活費の不安が軽くなり、その点も含め本当に感謝しています。将来かかる費用の見通しがたったおかげで、毎日が本当に楽になりました。本当にありがとうございました。

・岐阜大学基金のおかげで、充実した学びを大学院で行うことができました。ありがとうございました。

・応援奨学生となり、経済的・精神的に余裕が生まれ、研究に励むことができただけでなく、岐阜大学応援奨学生であるということに誇りをもって、何事にも前向きに取り組むことができた。

・給付していただいたことで、経済的な心配をすることなく、研究に励むことができました。そのおかげもあり、国際学会で発表する機会を得ることができました。さらに、国際学会で最優秀論文賞を獲得できました。ありがとうございました。

・この度、応援奨学生に選んでいただきありがとうございました。学生生活の時間はお金では買えない価値があると思います。いただいた奨学金のおかげで時間に余裕ができ、有意義に過ごすことができています。今後も引き続き精進して参りたいと考えております。

・私は応援奨学生の給付を受けたことで日々の勉強に集中して励むことができました。心より感謝いたします。本当にありがとうございます。

・これまで、平日は研究室、土日はアルバイトという生活で常に疲労を感じていたが、奨学金をもらうようになってからは時間に余裕ができてワークライフバランスの整った研究室生活が送れるようになって、作業効率も上がったように感じた。

・給付を受けたことで、専門書や高価な解析ソフトが購入でき、研究をより進めることができ、感謝致します。